

平成30年度 第7回 常任理事会議事録

日 時 平成30年12月15日(土)9時30分～11時00分

場 所 北海きたえーる小研修室

出席者 渋谷研一、大江憲一、黒田謙二、印藤智一
田中昌幸、沓沢幸一、丸山道博、浅野泰弘
碓井喜晴、春間好実、家近昭彦

<進行：春間常任理事>

1. 開 会

※議事録署名人に渋谷理事長、印藤副理事長、春間常任理事の以上3名とする。

2. あいさつ（渋谷理事長）

国際大会や中止となった日本マスターズの準備等を含め一年間の事業も殆んど終えることができお礼申し上げます。

本日は常任理事会の後に世界バレーの最終実行委員会、JOC 壮行会、理事会が控えておりスピーディーな審議をお願いします。

3. 協議事項

(1) 第3回理事会開催について（総務委員長）

○12月15日（土）14時00分から北海きたえーる大研修室で開催する。本日の出席者数は理事29名、監事2名の予定となっている。また、11時00分から実施の世界選手権女子札幌大会実行委員会は15名の参加予定となっている。

・報告事項

- 1) 平成30年度前期事業実施状況
- 2) 平成30年度一般会計執行状況

・協議事項

- 1) 平成31年度全道大会開催地について
- 2) その他

・本日の行事予定

- | | |
|---------------------|--------------------|
| 1) 常任理事会 | 9時30分（小研修室3） |
| 2) 世界選手権女子札幌大会実行委員会 | 11時00分（小研修室3） |
| 3) JOC 壮行会 | 13時15分（大研修室） |
| 4) 第3回理事会 | 14時00分（大研修室） |
| 5) 協会役員忘年会 | 16時00分（OSTERIA101） |

○総務委員会より前回確認できていないMRSデータに基づくJVA個人登録状況の報告がある。平成30年度一般会計執行状況は前回常任理事会での報告と同様なため理事会にて報告する。

○競技委員会より委員会開催の実施状況の報告がある。大会運営報告では日本マスターズの中止、

国際大会は審判委員会の協力によりスムーズな運営ができ、来年のワールドカップにつなげていく。今後の取り組みについてはリニューアルされた協会ホームページについて各加盟団体とのつながりができるように更新していく。平成31年度から高校総体の北海道枠が男子は1チームとなる。女子は現状通り2チーム。平成31年度の北海道バレーボール協会・全国大会競技日程の説明があり、3月の理事会に詳細日程の記載された最終版を配布する。

○審判委員会より2審判員指導育成事業の中で8月8日～10日まで日本B級キャンプに参加した釧路協会藤枝彰恵氏と根室協会小沢敦氏の追加報告がある。地区協会審判講習会は11月23日をもって24地区協会すべて終了した。

○審判員登録関係では日本協会名誉審判員推薦、北海道協会名誉審判員認定、日本協会B級審判員認定の推薦及び認定の承認依頼が審判委員会より提案され、以下19名全員が承認された。

【日本協会名誉審判員推薦】2名

飯田知男氏（後志協会：日A級）、黒田謙二氏（札幌協会：日B級）

【北海道協会名誉審判員認定】4名

高橋由香子氏（札幌協会：日B級）、松村雄光氏（帯広協会：日B級）

佐々木 勲氏（名寄協会：日B級）、神田英一氏（名寄協会：日B級）

【日本協会B級審判員認定】13名

五十嵐浩平氏（函館協会）、森 拓馬氏（小樽協会）、馬場千怜氏（小樽協会）

本巢雄介氏（日高協会）、小林雄太氏（岩見沢協会）、村上 僚氏（岩見沢協会）

水林 壘氏（富良野協会）、新山竜彦氏（旭川協会）、鏡 拓也氏（旭川協会）、

佐藤和弥氏（稚内協会）、切越忠孝氏（北見協会）、松井孝之氏（帯広協会）

佐土原俊介氏（釧路協会）

○指導普及委員会より今後実施される会議・事業について報告がある。また、新しくなる公認指導者取得講習会（スタートコーチ）に、講師となる日本協会公認講師の育成を進めてほしいと要望がある。

○その他

かねてよりJOCのチーム関係者から横断幕の希望があり、大会会場を見ても北海道だけ応援旗が無いため、理事長、総務委員長先決で2枚作成。1枚3万円で6万円を予備費から支出する。

(2) 2018世界選手権女子札幌大会について（渋谷理事長）

○皆様のご協力で精算が確定し、最終実行委員会に提出する決算書の説明がある。支出にかかる業務運営費は15,860,987円でJVAから運営委託費として同額の収入がある。チケット販売手数料は1日5,300席販売し、5日間で5,500席が売れ約20.8%の入場者があった。販売総額は11,792,600円となり、JVAへの納入金(85%)、チケットショップへの手数料、加盟団体への先行販売取りまとめ手数料を差し引いた残にグッズ販売売上の10%を合わせて1,165,923円の残額となり、基金に繰り入れし来年度の予算化とする。この点は11時からの実行委員会で承認頂き、最終確定した部分を理事会に報告する。会場使用料の10,106,752円は今年toto宝くじの助成を受けるのでJVAから道体協に直接払いとなった。最終的に2,700万円の経費がかかったが、Aサイト以外日本戦の無い会場の中では一番赤字の少ない会場であったと報告がされた。

(3) 2019女子ワールドカップ札幌大会について（渋谷理事長）

○体育館の基本借用日程は当初 9/18～25 までの予定であったが 9/19～25 となり、準備設営期間は 9/19, 20, 21、試合日は 9/22, 23, 24、撤収は 9/25 となる。ワールドカップも実行委員会方式で各部長は世界バレーと同じ体制で臨む。宿泊輸送業務はすべて JTB が行う。VIS は世界バレー同様データバレーを採用する。

(4) その他

○2019 年度 6/27～30 まで東日本バレーボール大学選手権大会に北海道協会名の使用許可の了承と小学生連盟と協力して小学生バレーエキジビションやバレーボール教室を企画検討している。また、実行委員会方式で運営するため北海道協会の理事長の参加も了承した。

○北海道体育協会の役員改選が来年 5 月に予定されており、評議員の半分が改選される。1 月末までバレーボール協会として 1 名の推薦を正副理事長に一任することを了承した。任期は平成 31 年度から 4 年間となる。

4. 報告事項

(1) 日協関係 (渋谷理事長)

○11 月 23 日「全国ブロック理事長・全国連盟代表の合同会議」のグループディスカッションの報告がある。MRS 登録の値上げは 2021 年度をめどに、C 級審判員や役員の人数把握を行う

○ミカサ社の新ボールの取り扱いについて国内大会は 2020 年からとなり、道内大会は全国大会と同様の取り扱いとなる。なお、一般販売は 2019/5 月上旬を予定している。

(2) 各委員会

○総務委員会 全日本小学生大会の男女混合の部で準優勝を飾った北北海道代表遠別イーグルスの表彰に授与する記念品について、チームからバレーボールネットの希望があり、購入費の半額分 18,000 円を助成する。

○競技委員会 高校大会の代表者会議で組み合わせについてフリー抽選にしてほしいとの要望がある。強化委員会を含め競技委員会で次年度以降に向け検討することとなった。

○審判委員会 H31/1/19, 20 東川小学校、3/16, 17 鷹栖体育館でヴォレアス北海道のホームゲームがある。2019-20 はヴォレアス北海道がディヴィジョン 2、サフィルバ北海道がディヴィジョン 3 に参戦するため、審判員の確保及び費用を考慮し札幌開催は札幌地区の審判員で実施することのお願いがある。

○小連

1) 北海道小学生バレーボール連盟 事業

第 16 回 北海道スポーツ少年団バレーボール交流大会 成績結果

	<男子の部>	<女子の部>
優勝	遠別イーグルス	釧路鶴野エース
準優勝	WIN 海陽	知内バレーボールクラブ
第 3 位	十勝 JVC	標津川北
第 3 位	岩見沢志文ファルコンズ	下音更ウイングス

2) 指導普及委員会支援事業

・北海道小学生バレーボール教室・指導者研修会

11/23(金)～24(土) 士別市朝日農業者トレーニングセンター、参加:児童 76 名、指導者 16 名

○その他 平成30年度 第9回「全国6人制リーグ」決勝リーグはH31/2/23,24 東海大学札幌キャンパス東海アリーナで開催の予定である。

※年末・年始の12月29日から1月7日(月)までの間、事務局は不在です。

5. 閉会

【次回：平成31年2月16日(土)9時30分・北海きたえーる】

議事録署名人 理事長 渋谷 研一 

議事録署名人 印藤 智一 

議事録署名人 春間 好実 